

建築基準法第12条第5項に基づく報告書

(第一面)

様

建築基準法第12条第5項の規定により、下記のエレベーターの安全装置（戸開走行保護装置又は地震時管制運転装置）の設置に係る報告書を提出します。この報告書に記載の事項及び添付図書については事実に相違ありません。

平成 年 月 日

報告者氏名

㊞

設置報告の理由	<input type="checkbox"/> 設置計画の報告（工事着手前） <input type="checkbox"/> 設置完了の報告（工事完了後）	
設置する建築物等	所在地：	
	名称：	
	用途：	
既設エレベーター 概要	名称：	用途：
	積載荷重：	最大定員：
	定格速度：	停止階数：
	確認済証の交付 検査済証の交付 定期報告登録番号等	昭和・平成 年 月 日 （確認済証番号 第 号）
	昭和・平成 年 月 日 （検査済証番号 第 号）	
	登録番号： （前回報告年月日： 年 月 日）	
安全装置の概要	戸開走行保護装置の設置 (大臣認定番号： ) (名称： )	
	地震時管制運転装置の設置 (大臣認定番号： ) (名称： )	
検査者 設置後の検査状況 (※)	資格：(例)昇降機検査資格者認定(修了書)番号 第 号	
	(例)安全装置設置完了検査の結果、関係法令に適合しており、 作動検査等において安全性を確認したことを報告します。 氏名： ㊞	
その他特記事項	※受付欄	

・この報告書は、正1通及び副1通を提出すること。

・この報告書には、「別紙」の図面及び書類を添えること。なお、添付書類は可能な範囲で両面印刷をするなど書類枚数を削減するようにして下さい。

(※) 検査者欄は、工事完了に係る報告の場合に記入すること。

---

**【1.所有者】**

【イ.氏名のフリガナ】  
【ロ.氏名】  
【ハ.郵便番号】  
【ニ.住所】  
【ホ.電話番号】

---

**【2.管理者】**

【イ.氏名のフリガナ】  
【ロ.氏名】  
【ハ.郵便番号】  
【ニ.住所】  
【ホ.電話番号】

---

**【3.代理者】**

【イ.資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
【ロ.氏名】  
【ハ.建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
  
【ニ.郵便番号】  
【ホ.所在地】  
【ヘ.電話番号】

---

**【4.設計者】**

【イ.資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
【ロ.氏名】  
【ハ.建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
  
【ニ.郵便番号】  
【ホ.所在地】  
【ヘ.電話番号】  
【ト.作成した設計図書】

---

**【5.工事監理者】**

【イ.資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
【ロ.氏名】  
【ハ.建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
  
【ニ.郵便番号】  
【ホ.所在地】  
【ヘ.電話番号】  
【ト.作成した設計図書】

---

**【6.工事施工者】**

【イ.氏名】  
【ロ.営業所名】 建設業の許可( )第 号  
  
【ハ.郵便番号】  
【ニ.所在地】  
【ホ.電話番号】

---

---

【7. 工事着手（予定）年月日】            平成      年      月      日

---

【8. 工事完了（予定）年月日】            平成      年      月      日

---

【9. 備考】

---

(注意)

1. 各面共通関係

- ① 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ② この報告書は、それぞれ、安全装置の設置計画（工事着手前）と安全装置の設置完了（工事完了後）の時期に分けて提出してください。

2. 第一面関係

- ① 報告者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- ② 「設置報告の理由」欄は、いずれかの報告理由をチェックしてください。
- ③ 「既設エレベーターの概要」欄の「用途」は、「乗用」、「寝台用」、「その他」の別を記入してください。  
なお、「乗用」には人荷用を含むものとし、「その他」の場合は具体的な用途を追記ください。  
(例:「その他(荷物用)」など)
- ④ 「検査者、設置後の検査状況」欄の「資格」については、一級建築士、二級建築士又は建築基準法施行規則第4条の20条第2項に規定する資格を有する者とします。

3. 第二面関係

- ① 2欄は、所有者と管理者が異なる場合で、管理者がこの報告をするときは必ず記入してください。
- ② 3欄は、この報告を所有者等から委任を受けて行う者がいる場合に記入してください。また、委任状及び証明書の写し（建築士免許証、建築士事務所登録証明書等）も併せて提出してください。
- ③ 3欄、4欄及び5欄は、代理者、設計者又は工事監理者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に属していないときは、所在地はそれぞれ代理者、設計者又は工事監理者の住所を記入してください。

(1) エレベーターの安全装置の設置報告に添える書類は、原則次による。

工事着手前	工事完了後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・付近見取図、配置図、各階平面図</li> <li>・安全装置配置図、構造詳細図、施工図等</li> <li>・大臣認定書の写し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昇降機施工状況報告書</li> <li>・安全装置（戸開走行保護装置及び地震時管制運転装置）の設置状況の工事写真</li> <li>・検査試験成績表、検査結果表等</li> </ul>

(共通事項)

- ・上表の書類以外に、特定行政庁が報告を求める書類等がある場合にはそれを添えること。
- ・設置報告に係る書類の提出時期や方法等について、特定行政庁から個別に指示がある場合には、上表に関わらずそれを優先すること。

(2) 設置報告に添える工事写真について

- ・報告様式は「戸開走行保護装置又は地震時管制運転装置の写真」を参考とする。
- ・報告対象の工事であることが判別できるように工事名、工事箇所、建物名称、昇降機名称等を記載した黒板を掲示して撮影すること。
- ・工事完了後の設置状況が明確に確認できること。
- ・設置工事が完了した各装置の取付け場所が明確にわかること。
- ・認定品等は認定品であることが確認できる銘板等を撮影すること。
- ・工事写真には、安全装置の位置及び構造が確認できる施工図等を添付すること。

戸開走行保護装置又は地震時管制運転装置の写真

昇降機番号	安全装置	<input type="checkbox"/> 戸開走行保護装置	大臣認定番号：
		<input type="checkbox"/> 地震時管制運転装置	名称：
写真貼付		部位	
		特記事項	

昇降機番号	安全装置	<input type="checkbox"/> 戸開走行保護装置	大臣認定番号：
		<input type="checkbox"/> 地震時管制運転装置	名称：
写真貼付		部位	
		特記事項	

(注意)

- ① この書類は、昇降機ごとに作成してください。その際に、「昇降機番号」欄には、建築基準法施行規則別記第36号の3様式第二面5欄の番号を記入してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「安全装置」欄は、貼付した写真に応じて「戸開走行保護装置」又は「地震時管制運転装置」のいずれかのチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該装置が国土交通大臣の認定を受けたものである場合は、その大臣認定番号及び名称を記入してください。
- ④ 「部位」欄は、貼付した写真の部位を記入してください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを貼付してください。なお、法第12条第5項の規定による安全装置の設置に係る報告書様式の別紙の「(2)設置報告に添える工事写真について」にも留意してください。
- ⑥ 「安全装置」の位置及び構造が確認できる施工図等を添付してください。